



発行所:自由民主党京都府参议院選挙区第三支部  
〒615-0062 京都市石京区西院坤町2  
ハウスドゥ四条ビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人:二ノ湯 智

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参议院議員会館921号室  
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字:栢木寛照

# えとす

平成28年 3 月号  
No.284

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯 智 ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 首相、民共の共闘を厳しく非難 参院選を控え、活気溢れる自民党大会

### 安倍首相、3年間の成果を強調

3月13日、第83回自民党大会がグランドプリンスホテル新高輪で、党員、党友約3千5百人が参加して、盛大に開催された。今年の7月には、参议院選挙が執行される。衆参同時選挙も囁かれているだけに、選挙モード一色の大会となった。大会は先ず、今井絵里子さんの国歌斉唱で始まり、谷垣幹事長の党務報告の後、友党公明党の山口代表、経団連の神原会長より来賓挨拶があり、ノーベル物理学賞受賞者梶田隆章氏のゲストスピーチがあった。次いで会場は参议院選挙必勝決起大会に変わった。最初に安倍総裁が挨拶に立ち、「夏の参议院選挙は、民共の勢力に絶対に負けない」と強調した。総裁挨拶の後、参议院選挙候補者70人の紹介があり、壇上で安倍首相と堅い握手を交わした。内閣、政党支持率共に継続して高く、自民党に追い風が吹いていると言われているが、閣僚、議員の不祥事が相次ぎ、少し緩んでいると指摘もされている。脇をしめて、しっかりと選挙に取り組まなければならない。



参院選を目前に控え、闘志満々の安倍首相

### 恒心

●2月から3月にかけて日本では、高校、大学と受験の真っ盛りである。義務教育を終えて、初めての高校受験は、無事合格できるか否か、若い世代には随分と不安になり、緊張するものである。●高校

生と言っても、まだまだ子供である。世の中の話は、何も分からない。受験に失敗したら、前途は真つ暗闇で、将来の人生が、台無しになるぐらいに思うものである。それほど不安な気持ちに駆られる。●広島県府中町の中学校で、1年生の時、万引きをしたとの非行歴が内申書に記載されていたために、希望する高校へ推薦状を書いてもらえず、それを苦にして、昨年12月、男子生徒が自殺するという悲しい事件が起きた。後で、内申書が誤った記載であることが判明した。●生徒は全く無駄な死を選んだことになる。担任の教師は何故、1年生の時の担任に生徒の万引き問題を、詳しく聞かなかったのか。生徒との話合いに十分な時間も割かず、間違った内申書をもとに、生徒の希望を聞き入れなかった先生の責任は極めて大きい。●文部科学省は、副大臣はじめ、関係者を現地に派遣した。痛ましい事故が2度と起こらないように、自殺に至った原因を徹底的に調査してもらいたい。数年前、大津市でいじめによって、中学生が自殺に追い込まれた。その時も、教師の対応のまずさが指摘された。●今回も、もう少し本人の話に耳を傾け、慎重に調査していたら、悲劇を防止出来た筈である。確かに教師は雑用が多く忙しい。ひとり1人の生徒の家庭環境、個性を把握出来ず、進路指導にも十分な時間を割くことが出来ないかも知れない。しかし、小学生、中学生にとって、先生は親以上の存在である。先生の言葉は非常に重い。子供の身になって、子供の切実な気持ちを聞いてやってほしい。

# 文化庁の京都移転、北陸新幹線の早期整備 二ノ湯議員、安倍首相、関係閣僚に要望

参議院決算委員会の二ノ湯議員の質疑を前回に引き続き掲載する。今回は、増え続ける海外からの観光客の不法滞在問題、北陸新幹線の整備促進、文化庁の京都移転について、安倍首相、そして関係閣僚に質問した。



委員会での質疑の様相

## ○二之湯智君

海外からの旅行者、いわゆるインバウンドですね。200万人近い人が来日しますと、ビザの期限が過ぎても帰国せず日本に不法に滞在する人もいます。一体どれぐらいの観光客が帰国せずにいるのか、またその人たちがどこに居住しているのか、監督官庁は十分に把握しているのか、その点をお伺いしたい。5月の伊勢志摩サミット、2019年にはワールドラグビー、2020年に東京オリ

ンピックが開催される。その辺のチェックも厳しくする必要があるのではないかと思えます。

## ○国務大臣(岩城光英君)

まず、平成27年1月1日現在の不法残留者数は6万7人です。そのうち、不法残留となった時点で観光を含む短期滞在の在留資格を有していた者は4万9000人です。一般的に言っています、こうした故意に不法残留となる者は摘発を逃れようとするため、その所在を把握することは極めて難しい面がございます。そこで、私どもとしては、一般の方々から提供されます情報など各種情報の収集や分析を積極的にまいりますとともに、以前から培ってきた警察等関係機関との不法残留者等に係る情報の共有や共同の取締りなど、協力関係を一層強化することによってその情報把握に努め、縮減に取り組んでまいります。それから、入国の際に厳しいチェックをする必要があるのではないかとありますが、これにつきま

ましては、テロリストや犯罪者等の要注目人物の入国を確実に阻止するため、まず指紋等の個人識別情報を活用した入国審査、これを実施しております。また、ICPQ、国際刑事警察機構が構築している紛失・盗難旅券データベースを活用するなど、厳格な入国審査のための様々な施策を講じております。法務省におきましては、昨年10月に出入国管理インテリジェンス・センターを設立し、情報の収

集・分析機能を強化するとともに、警察など関係機関との情報連携を強化し、水際対策に万全を期しております。そして、今後テロリスト等の発見をより確実に行うため、こうした施策を更に徹底していくために、入国審査等における顔画像照合機能の活用強化に取り組みなど、テロリスト等の入国を防止するための水際対策、これを更に強力に推進してまいりたいと考えております。

## ○二之湯智君

次に、整備新幹線の質問を致します。昨年の3月14日に金沢―東京間の北陸新幹線が開通しました。2時間28分という非常に短時間で東京―金沢間が行けるようになりました。恐らく将来的にはもっと時間が短縮すると思えます。かつて、金沢、富山県の砺波地方から西は関西経済圏、関西文化圏であったわけなんです。多くの学生も京都の大学に来た、富山県からも京都に随分働きに来た。ところが、新幹線効果で随分と富山、金沢の人が東京の方に向いてしまった。これから新幹線が西の方に早く延伸しないと、ストロー現象で、北陸地方も東京経済圏、東京文化圏になってしまうのではないかと、大変心配するわけですね。新幹線のない都市はいずれ衰退するであろうと言われています。したがって、整備新幹線は、国家的事業として、東京―極集中排除の観点からも急がなければならぬ。北陸新幹線は今着工している金沢―

敦賀間の更なる前倒しを図るとともに、未着工であります敦賀―大阪間の整備を急ぐべきだと考えておるわけです。国交大臣の所見をお伺いしたいと思います。

## ○国務大臣(石井啓一君)

北陸新幹線につきましては、長野―金沢間が昨年3月に開業いたしました。これにより企業活動や企業立地の活性化、沿線地域の生活圏の拡大、観光客の増加など、地域の振興や経済活性化に大きな効果をもたらしております。金沢―敦賀間につきましては、昨年1月の政府・与党申合せによりまして、完成・開業時期を3年前倒しをして平成34年度末の開業を目指すことが決定しました。敦賀―大阪間につきましては、これはルートに關し様々な意見がございまして、現在、与党の北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会において議論が行われているところでございます。当面、与党の議論を見守りつつ、まずは事業費等のルート選定に係る検討に必要な項目について調査を行ってまいりたいと考えております。

## ○二之湯智君

次に、政府機関の地方への移転についてお伺いしたいと思います。今、政府では、まち・ひと・しごと創生に関する有識者懇談会の提言を受けて、東京圏を除く道府県に対して、地方創生に資するべく考えられる政府関係機関について誘致のための条件整備の案を付して提案するよう求めてまいりました。昨年8月までに



42道府県から69機関の要望があったと聞いております。私も京都選出の国会議員として、今月の14日に、京都府知事、京都市長、京都商工会議所、そして裏千家の大宗匠などと、京都に文化庁をと、石破大臣、馳大臣、そして安倍総理にもお願いに上がりました。大変口幅つたい言いでございますけれども、日本の歴史、伝統、文化が息づき、そして有形無形の文化財がある京都、京都に文化庁を持つてきて、安倍内閣はいいことをしたと、評価されるのではないかと思います。現地視察されました馳文科大臣、そして直接の担当の石破大臣、そして最後に内閣総理大臣の文化庁移転に対する考えを聞きたいと思えます。

○国務大臣(馳浩君)

私も、京都の皆さんが国の文化行政に貢献したいという熱意を持ってもらえることをしっかりと受け止めて検討を進めたいと考えております。文化庁の京都移転の要望に関しては、行政の実務上の様々な課題も十分に検討する必要がありますと同時に、京都への移転が国全体の文化行政にどのような良い効果を生み出すことができるのか、そのためには、京都に移転した場合に文化庁はどのような機能を発揮すべきかという、そういう議論も更に深めていきたいと考えております。

○国務大臣(石破茂君)

有識者の御意見も承りながら、今年度中に総理を長といたします地方創生本部

で決定をいたしたいと思っております。中央省庁の移転ですが、民間の方々に移ってくださいと言っておいて中央政府が何もやらないでは、それは全然説得力も何にもないお話であります。ただ、行政でございますから、例えば文化庁が京都へ移転をすると思います、それが国民全体にとって現状以上のより高度な行政の発現ということではなければいけません。そのことの検証をきちんやり、地方創生の観点から政府全体として決定してまいりたいと考えております。

○内閣総理大臣(安倍晋三君)

今、二ノ湯先生のお話を伺っておりますと、ああ、文化庁はなるほど京都なのかなと、こういう感じには確かになるわけでございますが、先般、二ノ湯先生始め京都府知事、そして立石会頭等々、また京都市長もお越しをいただきました。そこで地元の皆様はしっかりと受け止めていただきたところでございますが、先ほど馳大臣また石破大臣がお話をさせていただきましたような諸点もしっかりと検討しながら、本格的な検討はこれからでございますが、関係大臣の間でよく調整を図りながら検討を進めていきたいと思えます。

同期議員の多くが姿を消す

浮き沈みが激しい政治の世界

平成16年に参議院議員に初当選した人数は、選挙区10人、比例区6人の合計16

人であった。6年後の平成22年の選挙では、比例区でスキ一の萩原健司氏が出馬せず、西島英利、秋元司の両氏が落選、中村博彦氏が病気のために亡くなった。選挙区では河合常則氏(富山選挙区)が出馬しなかった。安倍総理の弟・岸信夫氏(山口選挙区)が衆議院に転出、坂本由紀子氏(静岡選挙区)は知事選に出馬した。

今回の選挙では小泉昭男(神奈川選挙区)、北川イツセイ(大阪選挙区)の両氏が出馬せず勇退する。小泉、北川の両氏は、3選への意欲は満々であったが、地元事情のために、断念せざるを得なかった。従って、同期生は9人が減って、選挙区6人、比例区1人の7人になってしまった。寂しい限りである。どこの世界も変転目まぐるしいが、特に政治の世界は浮き沈みが激しい。

二ノ湯議員、公認証を受け取る

選挙へ向けての闘志みなぎる

党大会終了後、今夏の参議院選挙に立候補する予定候補者(選挙区公認46人、推薦1人・比例区公認23人)が、安倍首相から公認証、推薦証が交付され、その後首相、党役員との写真撮影をした。二ノ湯議員も当日、安倍首相から公認証を受け取った。既に党本部の公認が決定していたとはいえ、実際に公認証を交付されると、一層身が引き締まり、選挙へむけての闘志がみなぎっている。



公認証



総裁を囲み党役員との記念写真



総裁から公認証を受け取る

## 京都2・3区の候補者選定 頭を悩ます西田府連会長

宮崎議員の辞職に伴い京都3区では、4月12日告示、24日の投票票で補欠選挙が行われる。西田府連会長はじめ、3区の府会議員、京都市会議員始め、向日市、長岡京市、大山崎町の議員はこぞつて、候補者を擁立して戦うべきだとの姿勢を示していた。しかし、党本部は宮崎議員の辞職の原因が党のイメージを大きく失墜させ、このままでは北海道5区の補欠選挙も危うくなると判断し、自民党はこの際自粛して、補欠選挙を見送るという方針を決定した。戦わずして、議席を野党に与えることになり、与党の関係議員は悔しい思いを持っている。だが、たとえ見送るとしても、衆参同時選挙も噂されている。3区は勿論のこと、候補者不在の2区においても本選挙に備えて、1日も早く候補者(選挙区支部長)を決め、戦いの準備を進めなければならぬ。時間の制約がある中、西田会長は多方面にわたって、候補者選定に走り回っている。2区、3区には、選挙に強い民進党の有力な議員がいる。そのために知名度があり、選挙になっても民進党の現職と互角に戦える可能性のある人に声を掛けても、なかなかいい返事をもらえないのも事実である。候補者(選挙区支部長)決定までには、まだ時間がかなりかかりそうである。

## 選挙事務所を探しています

参議院選挙も近づき、戦いの本拠となる選挙事務所を準備しなければならぬ。京都駅周辺、地下鉄の便利が良い場所。さらに堀川通、烏丸通、そして五条通の幹線道路沿いが望ましいが、適当な空きビル、空き地もない。いい不動産情報があれば、ぜひとも二ノ湯事務所までご連絡下さい。

## 「日本真生塾」 例会のお知らせ

- 第66回 3月28日(月) 18時30分～21時
- 第67回 4月25日(月) 18時30分～21時
- 第68回 5月30日(月) 18時30分～21時
- 第69回 6月20日(月) 18時30分～21時

若くして日本の社会主義の理論を構築、急進的変革思想と具体策の提示により昭和の日本政治に大きな衝撃を与えた『北一輝』の実体に迫ります。

講師：岡本幸治 塾長

場所：龍谷大学アバンティ響都ホール(京都駅八条口前アバンティ9F)

<お問い合わせは事務局へ>(担当：奥井寛之)

日本真生塾事務局(二ノ湯事務所内) TEL: 075-351-2228 / FAX: 075-315-2310  
詳しくはFacebookページをご覧ください。 <https://www.facebook.com/nipponshinsei>

日本真生塾 塾長 岡本幸治

## 身辺雑記

一、認知症の人が鉄道事故を起こし、鉄道会社が親族に損害賠償を求めた。親族

が、不服申し立てを行い、最高裁判所は親族に責任はないという判決を下した。今後益々増大する認知症患者は誰が世話をすべきなのか。今後の大きな課題だ。一、国と沖縄県は話し合いをせよという裁判所の和解案を政府が受け入れ、辺野古の工事が、一時中止される。辺野古移設に反対の沖縄県、必要とする国の立場は変わらない。話し合いはどこまで行っても、平行線のままに終わる可能性が高い。一、迎賓館や京都御所等を広く、国民や外国の観光客に開放すべきだと、政府が動きだした。施設の維持管理に十分注意する必要があるが歓迎したい。公の施設の見学を厳しく制限している国は珍しいのではないか。一、民主党と維新の会が合併して、民進党が誕生した。どこかで聞いた名前だと思ったら、先ほど台湾の総統選挙で勝利した民進党と同じ名前だった。政党の結成は、名前よりも政策のすり合わせのほうが、先なのではないか。一、大分県議が年間28日活動し、6万6千キロ余りの燃料費を、政務活動費に計上した。1日当たり、約230キロ以上走ったことになる。タクシー運転手顔負けである。こんな議員がいると、地方議会の評判を落とすことになる。一、過激な主張を繰り返す共和党大統領候補のトランプ氏の勢いが止まらない。途中で、失速すると思ったが、指名獲得まであと一步のところまで来た。彼を支

える勢力は何か。米国の市民社会にかなり不満が渦巻いているのではないか。一、プロ野球の開幕が近づいてきたが、野球賭博に続いて、金銭授受が浮上してきた。どこまで問題が広がって行くのか。名門巨人が発端だけに、プロ野球の信頼を失墜させ、人気を落とすことになる。早く、全容を明らかにする必要がある。

## 「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は  
毎月一回の発行です。  
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、  
ぜひお申し込み下さい  
年間購読料 1200円  
郵便振替口座 01000-4-62360  
口座名：新政経懇話会

— お問い合わせ先 —  
二ノ湯さとし事務所  
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました  
<http://www.ninoyusatoshi.com>

## 「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1口1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228